

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	02	0401	生活道路維持事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
生活道路の維持管理

《事業開始の背景》  
市道の管理は道路管理者である花巻市が行うものであり、生活道路を安心して通行出来るようにするため。

《事業概要》  
 ・舗装修繕（オーバーレイ） 23路線 L=9,583m  
 ・道路除雪 L=1,930km

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 当該年度の舗装修繕延長	m	目標	9,500	8,000	0
		実績	9,874	9,583	0
② 市の瑕疵による事故件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	0	0
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	道路課	阿部信也	576

		25年度	当初(現計)	補正	26年度	27年度
事業費		986,778			0	
財源内訳	国庫支出金				0	
	地方債				0	
	その他	2,321			0	
	一般財源	984,457	0	0	0	0

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

《平成25年度》

- 道路維持補修委託 1式 389,851 千円 舗装修繕 L=9,583m、補修委託等
- 除雪業務委託 1式 458,604 千円 除雪延長 L=1,930km
- 維持補修工事 1式 15,798 千円
- 補修資材等 1式 122,525 千円

計 986,778 千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	02	0401	生活道路維持事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	2-6	快適で便利な道路網と公共交通体系の構築
目的	生活道路の維持管理				
対象	道路利用者、市民、修繕及び除排雪が必要な市道				
意図	安全に安心して、快適に通行出来るようになる。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- ・舗装修繕（オーバーレイ） 23路線 L=9,583m
- ・道路除雪 L=1,930km

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 当該年度の舗装修繕件数	路線	計画	11	19	
		実績	11	23	
② 当該年度の補修件数	件	計画	200	180	
		実績	579	464	
③ 当該年度の除雪回数	回	計画	5	5	
		実績	21	12	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 当該年度の舗装修繕延長	m	目標	9,500	8,000	
		実績	9,874	9,583	
② 市の瑕疵による事故件数	件	目標	0	0	
		実績	0	0	
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

舗装修繕（オーバーレイ）については、概ね目標どおりの結果となったが、道路補修については舗装面に凍上被害の影響が現れ、目標を大きく上回る件数となった。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

昨年度の凍上被害による舗装は破損が多発し多くの補修要望が寄せられている。自己中心的な苦情増加がみられ、迅速で確実な職員による対応が必要とされている。

目的妥当性	<b>公共関与の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市道の管理は道路管理者である市が行うものであり、道路の維持補修を実施するのはこの事業だけである。
有効性	<b>成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	舗装など道路の破損箇所については、道路パトロールや補修要望により毎日のように発見されているものの全てに対応出来ない状況であることから、道路パトロール、現地確認、補修対応と早期発見、早期補修につとめることで成果向上につながる。
効率性	<b>事業費・人件費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	道路施設の劣化や破損は今後も進むことから、補修箇所が減少する可能性は少なく、安全確保に必要な維持補修事業費の削減余地はない。維持補修箇所への早期対応が必要不可欠であり、パトロールや現地調査、苦情処理等、迅速で確実な対応を効率的に行うための直営人員体制強化が望ましく人件費の削減余地はない。
公平性	<b>受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	市が管理し、不特定多数が利用する市道の修繕・補修を行う事業であり、受益者は公平・公正になっている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

良好な道路の維持管理を継続していくために、道路パトロールや現場確認、補修対応、苦情処理等への迅速で確実な対応体制を確保していく必要がある。  
また、道路利用者からの情報は重要であり、情報収集については今後検討が必要がある。